



「生活」「人とのかかわり」「学び」の3つの柱を通して、幼児期から小学校への円滑な接続を図ります。

台東区の幼児教育では、発達段階に応じて①健康な心と体で生活できる力 ②相手や状況が分かり楽しく活動し、協力できる力 ③自分で考え、意欲的に遊び、学ぶ力 を育むことを目指しています。「ちいさな芽」では、育ちや学びの連続性を踏まえた視点として「生活」「人とのかかわり」「学び」の3つの柱を示しています。このため幼児期(3歳～5歳)を見通した取組を積み重ねていくことが大切です。

3歳児

生活

基本的な生活習慣の基礎を身に付けていきます

園での生活の仕方が分かり、あいさつ、食事、排泄、片付け等の習慣を身に付けていきます。

戸外の活動の後や食事の前など、手洗いやうがいの大切さを知り、自分でやってみようとする姿が見られます。



人とのかかわり

先生や友達とふれあいながら親しみを感じていきます

同じ遊びの場で友達と一緒にいたり、関わったりすることに楽しさやうれしさを感じるようになります。

遊びの中でやりたいことなど自分の思いを伝えようとするとともに、相手にも思いがあることに気付くようになります。



学び

好きな遊びや活動に進んで取り組んでいきます

好きな遊びを見つけて繰り返し遊びを楽しむようになります。

身近にあるものをいろいろな人やもの、ことに見立てて、イメージの世界を友達と関わりながら楽しめるようになります。



4歳児

生活

生活の仕方を自分なりに考えて行おうとするようになります

手洗いやうがいや持ち物の整理など、生活に必要なことに自ら気付いて行動するようになります。

友達と協力して活動する場面も増え、遊び道具の片付けでは、道具を大切に運んだり、安全に気を付けて片付けようとしていくようになります。



人とのかかわり

友達といっしょに遊び人と関わる楽しさを感じていきます

友達と遊ぶ中で、自分の思いや考えを出したり、友達の思いや考えに気付いたりします。思いや考えがぶつかり合う時は、互いに折り合いを付ける経験をしていきます。

みんなと一緒に活動する中で満足感やつながりを感じ始めます。



学び

自分なりのめあてをもち考えたり工夫したり、試したりします

自分なりのめあてを実現するために、材料を選んだり、遊びに必要な物を作ったりして遊びを工夫するようになります。

友達と言葉を交わし合い、一緒に活動する楽しさを感じていきます。



5歳児

生活

生活に見通しをもって状況に応じた行動をしようとしています

登園後、一日の活動を確かめながら、見通しをもって状況に応じて行動するようになります。

自分の健康等に関心をもち始め、体調の変化に気付いて人に伝えたり、気候に合わせて衣服の調節をしたりします。



人とのかかわり

友達のよさを認め合い共通の目的に向かって協力して取り組みます

様々な活動を共有する中で、共通の目的に向かって最後まで活動する喜びを味わいます。また、活動を進める中で、互いに応援し合ったり、相手のよさを知ったりして仲間意識も芽生えていきます。



学び

自分の課題に主体的に取り組みやり遂げる喜びを味わいます

自分の課題に主体的に取り組み、やり遂げた喜びを味わうようになります。

自分の思いや考えを相手に分かるように話すことができるようになります。

話を聞く楽しさや必要性を感じて、人の話を聞くことができるようになります。



小学校

時間割にそって学習や活動を行います



〈給食の時間〉配膳やお盆を持って運ぶなど、幼児期の様々な遊びや生活の経験が生かされます。

主体的で協働的な活動を行います



〈靴の入れ方〉上学年の靴の入れ方を観察し、その情報を利用して話し合い、ルールを決めます。

体験活動を重視した学習を行います



〈植物の栽培〉観察や世話を通して、成長や生命の大切さに気付いたり、親しみをもったりします。

幼児期は身体面・心情面において急速に成長していく時期です。いろいろな経験をして、「生きる力」の基礎を育てていきましょう。